

親しく正しく和む

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人

寺楽寿

No.43

令和3年1月1日発行



本覺山 妙壽寺 (法華宗(本門流))
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ http://myojuji.or.jp



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗(本門流)本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。

リレーコラム No.3

連載「無縁社会と寺縁」は前号をもちまして終了しました。今号より当山弟子と職員による「リレーコラム」をお送りします。

一周忌を迎えて

あなたが旅立ってもう一年が過ぎました。私にはあつという間にしか感じられませんが、あなたはどうか生きていますか？

仏さまの住む世界の居心地はどうですか？寒いのが苦手なあなたは寒い朝のご修行に苦勞しているのではないですか？一年経って夢にも現れないのは、余程そちらの世界で楽しい出来ごとがあるのでしょうか。

私の事は心配しなくても大丈夫です。周りの方の優しさに包まれて毎日過ごしています。見えていますよ？なんと私、毎日ご飯作っています。信じられますか？あなたが居た時、料理はあなたにお任せでした。当たり前のように毎日出てくる料理を「美味しい」とか「ありがたい」とか私言いませんでした。当たり前のように毎日出てくる料理を「美味しい」とか「ありがたい」とか私言いませんでした。冷凍庫の底に見つけました。二人で食べる予定だったのに私ひとりで食べました。美味しかったですよ。近頃は料理つくりを楽しんでいます。でもあなたを身近に感じていますよ。毎日お水を替えろウソクを灯し、お線香を手向ける、ご成仏を祈る、それだけの事ですが、生きてる者から仏さまへ出来る事、毎日同じことを繰り返す、心の中に住んでいるあなたに語りかける、掛け替えのない時間はこれからも日常生活として大事にしていきます。

仏さまになって一年、まだまだあなたは修行の道が続きますね。私もあなたに会いに何時行ってもいいのですが、もう少しこちらで私が出来る事をしてからいこうと思います。あなたに笑われないように一生懸命、毎日を過ごしますね。(当住徒 園田顕敦)

【報告】12月20日(日)園田みあき夫人(清華院妙和日恵大姉)第一周忌法要が、当山本堂において筆者施主にて肅やかに奉修されました。



令和3年度
祭報掲載
800年

新しい歳を壽ぎ御多幸をお祈り致します。
疫病の早期収束を祈願致します。

令和三年元旦

「涅槃園」より 中村美希・画

ひと・まち探訪 烏山(東京・世田谷)

寺町、イチョウ輝く「小京都」

「寺町」と呼ばれるこの地域は、北烏山2～6丁目にかけて、南北貫く寺町通りを中心に計26の寺院が整然と立ち並ぶ。美しさと静寂が調和した街並みは「小京都」とも称される。成り立ちは、1923年(大正12)の関東大震災に遡る。大震災では東京の下町を中心に多数の寺院が被災。復興に伴う区画整理などにより、焼け出された寺院は周辺地域に移転して寺町を形成した。自然豊かな烏山には浅草、築地、麻布などの寺院が相次いで移ってきた。

寺町といっても宗派は様々だ。世田谷区のホームページに掲載されている「烏山寺町ぶらり散策マップ*」を参考に各寺院を訪ねると、歴史だけでなく、それぞれ個性があることに気づく。見どころは盛りだくさんだが、季節柄、最も印象に残ったのは妙壽寺の門前で黄色に染まった巨大なイチョウの木だった。住職の三吉廣明さんは「この地に開墾した世代が将来のことを考えて努力を重ねてきたからこそ、緑あふれる寺町ができた。しっかりと残していきたい」と話す。



(当山撮影)

観光地ではない。京都のようなスケールもないが「また訪れたい」と思わせる魅力が詰まっている。そんな懐の深さを感じる街だった。
(日本経済新聞令和2年11月28日版一部抜粋)

「烏山寺町」(無料) 書籍をご希望の方は、ご連絡ください。配布いたします。

寺日記

- 9月1日 秋山智英氏(元林野庁長官) 逝去
(瑞林院智覚日英居士行年94歳) 同5、6日当山ご宝前において通夜、葬儀奉修。
- 9月1日 古宅義徳氏ご寄進
ご母堂主刀子自ご遺品のお茶道具等をご寄進いただきました。
- 9月22日 彼岸会中日合同法要 200余名参拝
お衣替え(日蓮聖人御着衣の本衣五条お衣替・正隆念)
- 10月10日 東京ブレイズクラブ お祝い会
「西の市」の西開催(二の西11月14日、三の西11月26日開催) 於浅草長國寺(当山組寺)
- 11月3日 午後二時より御会式法要・鬼子母神遷座法要・矢吹泰英上人百ヶ日法要 約150名参拝
第10回竹灯籠能&落語独演会
落語独演会は、春風亭一之輔師匠による演目「普段の袴」佐々木政談。竹灯籠能は浅見慈一師による「石橋」を演じました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止策として観客数を制限し、100名余の参加でした。②③
- 11月7日 千葉珠恵(当住上人妹) 七回忌法要(慈隆院妙珠日恵大姉) ④
村上恭子夫人ご寄進
ご母堂黒田輝子刀自ご遺品の茶道具等をご寄進いただきました。
- 11月13日 大阪・妙道寺(住職高橋顕昭上人) 高橋妙子夫人(事徳院恵龍日淳大姉 行年82歳) 逝去。同16日、当住
- 11月14日



● 11月24日 納骨堂見学会(都内5カ寺)
丸山コト夫人五十回忌法要(徳光院浄貞妙琴大姉) 同刀自は彫刻家吉田芳明・白嶺両先生の実妹ユニバーサルデザインの本ベンチ、当山山門前に設置⑤

● 11月29日 鳥山駅前通商店街振興組合・田中省一専務理事(当山檀家世話人の仲介による)
東京ブレイズクラブ成道会
於麻布普福寺
● 12月8日 正隆会 年末唱題会
お焚き上げ法要

● 12月12日 鶴沼・晴明庵 御会式法要。10余名ご修行
● 12月24日 桑港・日蓮教会 御会式法要。10余名ご修行
● 12月24日 当分の間、諸行事および文化教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止となります。
● 12月2日 猿江・猿江別院 写経会開催

● 12月3日 鳥山山門前に設置⑤
● 12月29日 納骨堂見学会(都内5カ寺)
● 11月24日 丸山コト夫人五十回忌法要(徳光院浄貞妙琴大姉) 同刀自は彫刻家吉田芳明・白嶺両先生の実妹ユニバーサルデザインの本ベンチ、当山山門前に設置⑤

● 11月24日 納骨堂見学会(都内5カ寺)
● 11月29日 丸山コト夫人五十回忌法要(徳光院浄貞妙琴大姉) 同刀自は彫刻家吉田芳明・白嶺両先生の実妹ユニバーサルデザインの本ベンチ、当山山門前に設置⑤

法要のご案内 (別紙参照)
新型コロナウイルス感染の拡大防止策を寺内に施した上、奉修いたします。

節分会追善式(豆まき)
2月2日(火)
(明治30年以來123年ぶりに2日となります)

春季彼岸会中日法要
3月20日(祝・土)

新規墓所3ヵ所募集
永代使用墓所を新規募集します。
3尺×4尺=6基
3尺×3尺=6基
2尺×2尺=8基
詳細は春彼岸案内にお知らせします。

宗務院DIARY
9/4, 10/15, 11/20, 12/2, 12/23 内局会議
9/14 僧階詮衡会 於京都・本能寺
9/28~30 千葉教学講習会 於上総一宮・松涛軒
10/15 宗門史編纂委員会・完成報告法要⑥
10/22 門連京都理事会 於岩倉・妙満寺⑦
11/16 教学研究所主任会(Web)

正隆会 (SHORYU-kai) 午後2時開催
【SHORYU-kai】 月例講 案内
当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例では、毎回1時半より正隆前法要を奉修しております。

1月9日 初題目・勉強会
「日蓮紀行」拝読 11
2月2日 節分会追善式(豆まき)
3月13日 勉強会「日蓮紀行」拝読 12
4月10日 勉強会「日蓮紀行」拝読 13
5月8日 勉強会「日蓮紀行」拝読 14
6月12日 勉強会「日蓮紀行」拝読 15
正隆会「春のウォーク」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となります。

当山境内で「木の実拾い」
日頃、当山では青少年育成のため、近隣の小・中学校を対象に当山見学等を実施しております。10月16日、世田谷区立烏山北小学校1年生の課外授業に松ぼっくりとどんぐり拾いが行われ、西澤当山職員が案内いたしました。

矢吹上人御遷化
前号でお知らせしました福島・立正院矢吹泰英上人(照隆院日意上人)の本葬は、8月29日奉修されました。彼岸会中日合同法要において百ヶ日忌供養を併修いたしました。当山にお寄せいただきましたご厚情に深謝申し上げます。

供養と祈願
明年3月11日、10周年を迎える東日本大震災の後、幾度かの被災地巡拝を行う中、寺院の役割は供養と祈願に尽きることを改めて思い至りました。この度の新型コロナウイルス感染において、ご不安を感じる皆さまに対し、どのような形でも、そのご不安に対するご祈願を承ります。当山まで、ご相談お申し出ください。

お布施とは
お布施には、3つの布施があり三施といわれます。一、法施とは、お経を読み、教を弘めること。二、身施とは、身で施す。寺院・僧侶の役に立つこと。三、財施とは、金銭や衣服食料などの財を施すこと。【お心】前号以来「寄進賜った皆様には心よりお礼申し上げます。」

身施の人・坂本幸子夫人
当山檀家で東京目白会所属の坂本夫人は、毎週のように当山境内の草取り清掃をご奉仕いただいております。いつも微笑みをおやさす、物静かなふるまいのお方です。

ご寄進のお願い
「妙壽寺客殿保存会」は、平成20年に世田谷区指定有形文化財に指定されました。区とともに次代に継承していくためには、客殿を使い続け、適切な維持管理が必要です。一口10,000円、ご寄付は何口でもお受け付けいたします。

山 南側樹木伐採・清掃
夏の終わりに、造園業の精内デザイン工業代表前内利章氏とその職員により、精力的に樹木を伐採いただきました。また、併せて西側に松の木を囲み塀を修復しました。ご賛同いただきましたら、ご志納(金額は自由です)をお願いいたします。

僧侶衣帯
当山弟子職員の夏冬の衣帯(所持の仏具などのご寄進のお志をいただければ幸いです)。

ご寄進のお願い
「妙壽寺客殿保存会」は、平成20年に世田谷区指定有形文化財に指定されました。区とともに次代に継承していくためには、客殿を使い続け、適切な維持管理が必要です。一口10,000円、ご寄付は何口でもお受け付けいたします。

山 南側樹木伐採・清掃
夏の終わりに、造園業の精内デザイン工業代表前内利章氏とその職員により、精力的に樹木を伐採いただきました。また、併せて西側に松の木を囲み塀を修復しました。ご賛同いただきましたら、ご志納(金額は自由です)をお願いいたします。

僧侶衣帯
当山弟子職員の夏冬の衣帯(所持の仏具などのご寄進のお志をいただければ幸いです)。

身施の人・坂本幸子夫人
当山檀家で東京目白会所属の坂本夫人は、毎週のように当山境内の草取り清掃をご奉仕いただいております。いつも微笑みをおやさす、物静かなふるまいのお方です。

ご寄進のお願い
「妙壽寺客殿保存会」は、平成20年に世田谷区指定有形文化財に指定されました。区とともに次代に継承していくためには、客殿を使い続け、適切な維持管理が必要です。一口10,000円、ご寄付は何口でもお受け付けいたします。

山 南側樹木伐採・清掃
夏の終わりに、造園業の精内デザイン工業代表前内利章氏とその職員により、精力的に樹木を伐採いただきました。また、併せて西側に松の木を囲み塀を修復しました。ご賛同いただきましたら、ご志納(金額は自由です)をお願いいたします。

僧侶衣帯
当山弟子職員の夏冬の衣帯(所持の仏具などのご寄進のお志をいただければ幸いです)。

身施の人・坂本幸子夫人
当山檀家で東京目白会所属の坂本夫人は、毎週のように当山境内の草取り清掃をご奉仕いただいております。いつも微笑みをおやさす、物静かなふるまいのお方です。

ご寄進のお願い
「妙壽寺客殿保存会」は、平成20年に世田谷区指定有形文化財に指定されました。区とともに次代に継承していくためには、客殿を使い続け、適切な維持管理が必要です。一口10,000円、ご寄付は何口でもお受け付けいたします。

宗祖聖誕 800年記念・本堂落慶35周年記念インタビュー



川島正次郎先生の在りし日の思い出（下）
川島一雄氏（公益社団法人中村積善会評議員）
聞き手 三吉廣明上人 6月2日（火） 於・妙壽寺（東祥苑・持仏の間）

突然のお別れ

住職 先生がご他界されるそのときを誰様はよくご存じでいらつしやるわけですね。
川島 そうですね。私は、自分の父でありながら「先生」と呼んでいます。古い政治家の家族というのは、代議士さんをみんな「先生」と呼ぶんですね。奥さんは「奥様」と。実は私にはもう一人母がいて、その3人で長いこと生活していました。私は2歳ぐらいのときに引き取られて、ずっと一緒にだつたということになってしまっています…。
住職 山王のお屋敷でずっと一緒だつたのですか。
川島 そうです。その前は、私も聞いた話でよくわからないのですが、品川で生まれました。昭和19年、戦争も大分激しいときだったので、母の実家の群馬県に移っていたのですが、戦争が終わって、先生から、田舎に置いておいては駄目だということで、大森の家へ引き取られ、それからずっと一緒に生活をしています。ですから、どこかへちよつと出かける時も、旅行でもいつも連れられて行かれました。常に先生と奥様と私とで外出して、母は留守番です。子供時代はそういう状況でずっと育ってきたものですから、あまり代議士の誰々という認識がなかつたですね。

住職 一年中一緒にお風呂も入られたそうですか。
川島 そうです。夏の間は別荘がわりに箱根宮ノ下の旅館「奈良屋」で涼しくて過ごしやすいくらいで、私の記憶だと5才のころからお邪魔していたのではないかと思えます。
住職 それで、先生が亡くなったのが昭和45年11月9日ですが、直前にご旅行にも行かれていたとか。
川島 ええ。そのひと月前の10月7、8、9日と北海道へ。北海道はお気に入り、北海道開発庁長官も何度か務めておられ、お付き合ひの関係では、北海道炭礦汽船の萩原会長から、しばらくぶりだからご夫妻で秋の北海道はどうですかと誘ってくださり、ありがたくお受けしました。政治家の家には必ず新聞記者がついているんですよ、不思議と。

住職 番記者ですね。
川島 そういふことですね。萩原さんが氣を利かせて、今回は先生が気楽に旅行してもらえらるよう、新聞記者の人はやめましょうとあえて言ってくれたようです。私どもの先生もそれを快く受けて、先生と

奥様、権名悦三郎先生ご夫妻、赤城宗徳先生ご夫妻、篠田弘作先生ご夫妻、浜野清吾先生、山村新治郎先生が伴って行きました。
住職 政治家の皆様ですね。
川島 そうですね。川島派の交友クラブの皆さんも一緒です。また、日本画家東山魁夷先生ご夫妻とも一緒し、東山先生ご夫妻は、函館へと足を伸ばされ、その後、東山先生は紅葉の北海道を描いたと伺っております。
東京に戻って、11月1日に川島連合会が開催されましたが、春と秋は、持病の喘息で時々体調が崩れるときがあるため、急な用事がない限りは自宅を過ごす。それで喘息を治めるために毎年ハワイに出かけていまして、先生ご夫妻と私の3人だけで11月9日に出発を予定してました。その日の朝、寝室に呼ばれまして、身体はどうですかというように話を聞いて、本人は行く気になっていまして、大丈夫だよということでした。
住職 そのときは三井グループのお仕事をされていたのですか。
川島 そうです。北炭（北海道炭礦汽船）の萩原さんの秘書に預けられていました。
住職 ご自宅に帰ったときは、先生はもう…。
川島 はい。自宅から電話がありまして、先生が亡くなったと。

大映の永田雅一社長は池上本門寺さんに非常に近い関係があったと伺いました。
川島 はい、そうです。
住職 その池上本門寺との関係で、身延山の一番お偉い現下にお願ひしようかという話が出てきたときに、合同葬儀（自民党・専修大学・千葉工業大学）でしたが、当然自民党の仕切りというのは幹事長である。当時の幹事長・田中角栄先生は、「そういうことではなくて、やはりこういふことはお墓のある菩提寺を立てなさいいけない」という裁定をされて、結局妙壽寺でお葬儀をさせていただいた。私の母は尼住職でしたから、やはりそのころは、川島先生ほどのお方なので、東京に宗務総長と申しまして我々の教団行政トップの高名なお上人（宗務総長福島日陽台下、後の大本山光長寺御貫首現下）がおられ、そのお上人に葬儀式場である武蔵館で大師導をしていただき、自分は副導師ということで一歩引き下がってお勤めをさせていただきました。ですから、それ以降、私の母は亡くなるまで田中先生のファンでした。（笑）
川島 田中先生も非常に庶民的な方で、ご自身の動かれ方も、心が体から出ているような先生でした。
住職 そういう筋を通されるような方でした。その後、結局このお寺に四十九日のご埋葬ということになったときに、川島先生は副総裁で、内閣総理大臣が佐藤栄作先生。それで墓石に佐藤先生にご揮毫いただいた。そのときは、中学生の私は脇におりまして、これから埋葬ということで、本堂で奥様に先生の遺骨をお渡しするときに、隣に佐藤ご夫妻がおられて、住職が一言ご挨拶したときはちよつとつむいておられたが、ご遺骨が来たんだという感じの上を向かれたんですよ。そのときに、どきどきとした思いが出がります。うしたら、佐藤先生のあだ名が「政界の団十郎」と聞き、団十郎、あの目がぎよろつとされるなと思いました。
川島 佐藤先生と寛子奥様には、長いこといろいろお付き合ひを頂いて、今ご住職がおつしやつたように、葬儀から何からご配慮いただきました。
住職 その後、先代の私の母屋が尼住職をして、もちろん川島家には春秋、そして

夏のお盆とお伺いしていました。母が倒れた後に代務住職（沼津市大本山光長寺元執事長・南之坊浦辺泰恭上人）が行かれた。私は20代から大森山王のお宅に年3回はお経に上がらせていただきました。本堂に私にとっては人生で大変重要な体験が、川島家では自転車を買ってもらえませんでした。家に来る植木屋さんの自転車を借りて、内緒で乗っていました。どうしても欲しく、何度も奥様にお願ひしました。が、受け入れられませんでした。やつのことで承諾されましたが条件付きで、「我が家には二人の母の名前からつけた『マサカネ』という登録馬が日本中央競馬会にあり、レースで1着を取ったら自転車を買ってもいい」といわれました。残念ながらその夢は叶わず、諦めてしまいました。後年の夢は叶わず、諦めてしまいました。後年に聞かされた話では、「川島家には正孝さんという方がいて、14歳で自転車事故による破傷風で亡くなった」とのことです。そのため、私が自転車に乗ることを躊躇されたようです。
住職 政治家・川島正次郎先生の貴重なお話を伺って、やはり先生は巨星なのだ、非常に思いましたね。今、私どもの宗派でも、明治以降のこと、近現代のことが意外に分からなくなつてきているという話が出ております。研究者の方たちは戦国・江戸時代をいろいろ調べますが、それ以降のことが結構分らないですね。
川島 ちよつと近過ぎてしまふからでしょうね。
住職 そうです。近過ぎちゃうのと、まだちよつと生々しい面もあったりするからだと思いますが、これから歴史の再評価の中で、私は川島先生という政治家を再評価されるべきだと今回改めて思いました。過去に学んではかりいでは駄目だというご意見もありましたけれども、やはり過去を学ばずして未来はないわけですから、日本の来し方というのを考えて、これから日本の歩むべき道というのを考えて、これから川島先生のご生涯というのは、私もこれからもう少し勉強していきたいなと思います。
川島 ありがとうございます。（了）

川島正次郎 かわしま・しょうじろう
明治23年7月10日、東京日本橋で生まれる。京大日新聞記者、後藤新平東京市長秘書を経て、昭和3年の総選挙で政友会から初当選。以来、千葉1区から連続14期。戦時中は大本山政治情報部長。昭和30年、山内閣の自治庁・行政管理局長官、36年北海道開発庁・行政管理局長官、37年池田内閣の五輪担当大臣。この間、34年自民党幹事長に就任し、川島派を率いて河野一郎・大野伴睦と共に党の指導者として統率。39年から副総裁を務める。池田内閣誕生、佐藤総裁四選工作の際の手腕は「政界の寝技師」と評された。昭和40年4月、勲一等旭日大綬章を授章。昭和45年11月9日逝去。享年81才。廣徳院殿法勲政功日正大居士

かと言つと、あまりに近過ぎていろいろ薄れちゃうというのか、どうしてもすぐそばにいましたからね。
こんなことがありました。私が小学生の頃、自転車に乗るのが流行つていて、友達とサイクリングを楽しみにしていました。川島家では自転車を買ってもらえませんでした。家に来る植木屋さんの自転車を借りて、内緒で乗っていました。どうしても欲しく、何度も奥様にお願ひしましたが、受け入れられませんでした。やつのことで承諾されましたが条件付きで、「我が家には二人の母の名前からつけた『マサカネ』という登録馬が日本中央競馬会にあり、レースで1着を取ったら自転車を買ってもいい」といわれました。残念ながらその夢は叶わず、諦めてしまいました。後年の夢は叶わず、諦めてしまいました。後年に聞かされた話では、「川島家には正孝さんという方がいて、14歳で自転車事故による破傷風で亡くなった」とのことです。そのため、私が自転車に乗ることを躊躇されたようです。
住職 政治家・川島正次郎先生の貴重なお話を伺って、やはり先生は巨星なのだ、非常に思いましたね。今、私どもの宗派でも、明治以降のこと、近現代のことが意外に分からなくなつてきているという話が出ております。研究者の方たちは戦国・江戸時代をいろいろ調べますが、それ以降のことが結構分らないですね。
川島 ちよつと近過ぎてしまふからでしょうね。
住職 そうです。近過ぎちゃうのと、まだちよつと生々しい面もあったりするからだと思いますが、これから歴史の再評価の中で、私は川島先生という政治家を再評価されるべきだと今回改めて思いました。過去に学んではかりいでは駄目だというご意見もありましたけれども、やはり過去を学ばずして未来はないわけですから、日本の来し方というのを考えて、これから日本の歩むべき道というのを考えて、これから川島先生のご生涯というのは、私もこれからもう少し勉強していきたいなと思います。
川島 ありがとうございます。（了）

川島正次郎 かわしま・しょうじろう
明治23年7月10日、東京日本橋で生まれる。京大日新聞記者、後藤新平東京市長秘書を経て、昭和3年の総選挙で政友会から初当選。以来、千葉1区から連続14期。戦時中は大本山政治情報部長。昭和30年、山内閣の自治庁・行政管理局長官、36年北海道開発庁・行政管理局長官、37年池田内閣の五輪担当大臣。この間、34年自民党幹事長に就任し、川島派を率いて河野一郎・大野伴睦と共に党の指導者として統率。39年から副総裁を務める。池田内閣誕生、佐藤総裁四選工作の際の手腕は「政界の寝技師」と評された。昭和40年4月、勲一等旭日大綬章を授章。昭和45年11月9日逝去。享年81才。廣徳院殿法勲政功日正大居士